

平成27年度第1回中国四国地域認定事業計画一覧(平成27年5月29日)

中国四国農政局経営・事業支援部事業戦略課

No.	事業名	事業の概要	申請者	都道府県	市町村
1	加工用トマトを活用した「湯むきトマト」と「トマトピューレ」の製造販売	岡野農園では、平成24年からトマト、ブルーベリー、ぶどう、ネギ、ニンニク等を化成肥料不使用・農薬不使用で生産し、道の駅や消費者への直接販売を行っている。 本事業は、濃厚な味、型崩れしにくい特性をもつ「加工用トマト」を活用した食品（湯むきトマト、トマトピューレ）を開発し、道の駅での委託販売、ネット販売のほか、高級居酒屋等飲食店をターゲットにした販売を促進し、年間を通じた販売による収入の安定化を図る。	岡野 龍	岡山県	赤磐市
2	はれとまとを使ったトマトケチャップの製造販売	同社は、おかやまコープの子会社として設立し、平成26年から大玉トマト（桃太郎）を通年栽培・出荷し、おかやまコープへ販売している。 本事業では、現在廃棄している規格外品のトマト（生産量の約2割）を利用し、リーズナブルな価格で、つぶつぶ感を残した「トマトケチャップ」を開発し、おかやまコープ組合員・コープ直営店を主体に、飲食店等コープ以外への販路拡大を目指す。これにより、廃棄ロスの削減による所得の向上と雇用の拡大を図る。	株式会社 コープファームお かやま	岡山県	瀬戸内市
3	自社で漁獲及び養殖した瀬戸内の魚を使用した加工品開発と販売事業	同社は、小イワシのイリコ加工を主に、養殖（ハマチ、タイ等）や釣堀事業等を展開しているが、収益は、イリコ加工に適する6～12月の半年間に集中している。 本事業は、自社で漁獲又は養殖するハマチ及びタイを使用し、広島県産の味噌、レモンを原料とした加工品（味噌漬け）の開発を行うとともに、真空急速冷凍保存による通年販売体制を確立し、売上高の増加と、年間を通じた雇用の確保を目指す。	有限会社 大井水産	広島県	大竹市
4	神石高原にて栽培した有機JAS認証米・大豆を利用したお餅、味噌の加工販売事業	同社は、水稲、大豆の有機農産物を栽培し、先代からの顧客を主体に販売をしているが、山間部のため、寒さの厳しい冬期の販売が伸び悩んでおり、農産物の販売に加え、加工品の製造を経営に取り入れ、年間を通じた雇用体制の確立、経営の安定化を図っていくことが課題。 本事業では、有機JAS認証農産物を利用した付加価値の高い商品開発（味噌、餅）を行い、今後開園予定の観光コミュニティパーク「ティアガルテン」を新たな販売先とし、所得の向上を目指す。	株式会社 ローソン ファーム広島 神石高原町	広島県	神石郡 神石高原 町
5	飼料用米と広島産レモン粉末を給餌したひろしまレモン卵等の新たな販売方式の展開	同本部は、全国的に非食用米拡大に向けた作付誘導が進んでいる中、広島県では飼料用米の生産を推進しており、平成23年から、飼料用米をエサに添加して給餌した鶏卵「稲の香り」を販売している。 本事業では、全国一の生産量を誇る「レモン」を飼料に添加して差別化した鶏卵「ひろしまレモン卵（仮称）」を開発（生産）し、系統販売に加え、ネット販売、催事販売等様々なチャネルを活用した販売を展開し、養鶏農家及び稲作農家の経営の安定を目指す。	全国農業協同 組合連合会広 島県本部	広島県	広島市
6	自家農園で生産したりんごを活用した新商品開発とブランド化による地域活性化	藤井農園では、栽培面積2.5haでりんごを栽培し、約46tを生産している。生産量の半数近くを占める加工用は、ケーキ、パイ、クッキー等として自家製造・販売しているが、賞味期限が短いため、販路が限定されており、近年のりんご生産量の増加に対応した、新たな加工品の開発に迫られている。 本事業では、賞味期限の長い新商品（りんご酢ドレッシング、冷凍アップルパイ、ペット用チップス等）を開発し、卸売販売・直接販売等新たな販路の拡大、売上げの向上を目指す。	藤井 雅浩	山口県	山口市

No.	事業名	事業の概要	申請者	都道府県	市町村
7	農家レストランでの珍しい野菜の認知度向上と高付加価値販売	<p>同社では、四国最大の水耕栽培施設を保有しているが、今後、他社との競争激化が予想される中、販売ルートの拡大が課題である。</p> <p>本事業では、流通量の少ない「珍しい野菜(レタス類、水菜類等)」の、量販店等への販売拡大を推進していくとともに、加えて、珍しい野菜の料理方法等を広く紹介し需要の一層の拡大を図る目的で、自社で「フレンチ系農家レストラン」を整備し、生産拡大・売上げの向上を目指す。</p>	株式会社 カネイファーム	徳島県	藍住町
8	三原村産のユズを使用したカート缶入りユズジュースの製造及び販売事業	<p>三原村では、雇用の拡大、耕作放棄地の解消を推進するため、高知県の特産品であるユズの産地化・生産拡大を進めている。</p> <p>本事業は、ユズの生産量の拡大に伴い、青果として出荷できない加工用ユズの販売拡大を図っていく目的で、風味豊かで栄養分などを損なわない、「カート缶」入りの新たなユズジュースの製造・販売を計画している。</p> <p>カート缶は、ペットボトルに比べて低コスト生産・賞味期限の長期化が可能であり、収益率の向上による経営の安定と地域の雇用の拡大を目指す。</p>	公益財団法人 三原村農業公社	高知県	三原村